

豊田校区社会福祉協議会行動計画【概要版】

ささえ愛、まもり愛、安心して暮らせる豊田校区

高齢者

福祉課題

- 「ふれあい・いきいきサロン」の内容及び参加者が固定化している
- 「ふれあい・いきいきサロン」への男性の参加が少なく、参加者が減少している
- 閉じこもりがちな高齢者への支援体制が十分でない

具体的な取り組み

- サロン運営者間での情報共有を図り、参加者の要望・意見を取り入れ魅力あるサロンを目指す
- 男性が集まりやすい居場所をつくる

子育て

福祉課題

- 世代間交流が希薄化している
- 転入してきた子育て世代が地域との交流が無く孤立しがち

具体的な取り組み

- 子育て世代へ地域行事への参加を促す
- 料理教室などで世代間交流や子育て世代の交流支援を図る

暮らし

福祉課題

- 各種団体の役員、地域の担い手の育成が難しい
- 「8050問題」や困った時の相談窓口及び機関が分からない

具体的な取り組み

- 校区社協を理解してもらうため、地域住民へPRを図り、校区社協活動への協力を依頼する
- 若い世代に行事や事業を周知できるようSNS等を活用する
- 地域住民の困りごとを把握するためアンケートを実施し、相談先一覧表を作成する

防災

福祉課題

- 災害時要援護者名簿が活用しにくい
- ハザードマップへの理解が不足している
- 校区内の指定避難所へ避難しづらい地域がある

具体的な取り組み

- 登録者の情報及び避難ルートを確認する
- 防災における関係団体、関係機関と連携する

豊田校区社会福祉協議会行動計画

- ◎「ふれあい・いきいきサロン」、「いきいき百歳体操」の充実
- ◎住民主体の活動の更なる活性化
- ◎校区社協活動の周知及び担い手の発掘を目的とした広報の充実
- ◎校区内の福祉事業所等との連携強化
- ◎困りごと、心配ごと相談の支援体制の構築
- ◎災害時への備えのため平常時からの情報共有